

安心 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

(3) 安全な暮らしを実現する強^{きょうじん}靱な都市基盤の整備

⑩交通事故や犯罪のない安全な暮らしを実現する



現状と課題

- ◆通学路等における子どもの交通事故防止のため、危険箇所を把握し、交通安全対策を進める必要があります。
- ◆高齢者による自動車運転事故防止のため、認識しやすい交通安全施設を整備する必要があります。
- ◆地域の防犯および交通安全のため、自治会管理外灯の設置やLED化による安全な環境づくりが必要です。
- ◆窃盗・傷害などといった犯罪をはじめ、高齢者を狙った特殊詐欺や子どもが巻き込まれる犯罪への懸念から、地域で犯罪抑止に取り組む必要があります。
- ◆犯罪被害者等が受けた精神的被害の早期回復・軽減とともに日常生活を守ることが必要です。
- ◆消費生活の安全確保のため、消費者教育・啓発や消費生活相談窓口の充実が必要です。

施策の方針

警察・交通安全協会等と連携し、市民の交通安全意識の向上や交通安全施設の整備を図り、交通事故のないまちを目指します。また、地域における防犯灯および防犯カメラ整備や防犯活動を推進し、市民の防犯意識の向上を図るとともに、犯罪被害者等への支援内容の充実に向けた取組を検討し、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

消費生活センターと関係機関との連携のもと、啓発や積極的な情報交換、相談体制の充実を図るとともに、消費者協会活動への支援を行い、市民の消費生活の安全と利益を守ります。



交通安全教室



防犯カメラ